***2020年国勢調査 町田市　結果***

■**人口・世帯数**

町田市の人口は、431,079人、5年間の人口の増減率は、－0.3％の減少である。(全国-0.7％、東京都＋3.9％)

隣接市区で減少したところは、横浜市瀬谷区、相模原市緑区の2市区のみで、それ以外の市区は増加であるが、八王子市、多摩市、横浜市青葉区は、プラスであるがほぼ横バイに近い。

世帯数は、192,015世帯、5年間の世帯の増減率は、＋2.8％（全国＋4.5％、東京都＋7.9％）で全国、東京都に比べ低い。また隣接市区の中では、世帯の増加率が最も低い。

■**転入指数（転入者数／5歳以上の人口）**　※5年前の居住地から

　　転入指数は、5歳以上の人口に対する転入人口の割合。高いほど、その市区町村へ転入者数の割合が高く、他の市区町村から転居者を集まっていることを示す。

町田市の場合、11.0％、小田急沿線で隣接する川崎市麻生区（13.6％）、相模原市南区（12.0％）、大和市（11.3％）に比べ若干低い。（全国10.8％、東京都14.2％）

■**人口性比（男性/女性）**

人口性比は、95.5％で、ほぼ全国並み（94.7％）。東京都96.5％。

■**20～69歳の未婚率**　30.3％（全国30.2％、東京都35.1％）

■**外国人比率**　1.5％（全国1.9％、東京都3.4％）

隣接市区で高いのは、大和市（2.6％）

■**平均年齢**

平均年齢は、47.4歳、全国が47.7歳、東京都が45.3歳で、全国並みで、東京都に比べ2歳ほど高い。隣接市区で47歳台に到達しているのは、多摩市、横浜市瀬谷区、横浜市緑区。

年齢の3区分は、15歳未満12.2％、15～64歳60.2％、65歳以上27.7％。

■**一般世帯人員**

　　平均が2.2人、単身世帯が37.2％、2人以上の世帯が全体の6割強を占める。全国平均2.2人(単身世帯38.0％)、東京都1.9人（単身世帯50.2％）。

隣接市区は、2.1人～2.3人で大きな差はない。

■**住宅所有と建て方**

持ち家は、58.5％、全国並み（60.6％）で、東京都（45.7％）に比べ高い。なお、多くの隣接市区と大きな差はない。公営・都市再生機構・公社の借家が12.0％で、隣接市区の中では、多摩市（16.7％）に次いで高い。ちなみに東京都は6.4％。

一戸建ての割合が48.7％で、隣接市区の中では相模原市緑区、横浜市瀬谷区に次いで高い。（全国53.1％、東京都28.3％）、また、共同住宅が48.8％で半数近くであるが、隣接市区の中では、やや低い方には入る。(全国44.0％、東京都69.6％、多摩市75.1％)

■**都市計画の地域区分（人口分布構成）**

　　その市区町村の居住者がどのような地域に居住しているかの人口分布状況を示す。

町田市の都市計画の地域区分（人口分布構成）は、工業区域が7％、商業区域が8％、住居区域が84％の分布構成となっている。ちなみに横浜市青葉区、川崎市麻生区は、90％以上が住居地域の居住者である。

■**就業率**

男女合計49.3％、女性の就業率42.5％で、隣接市区と大きな差はない。（全国53.2％、46.5％東京都49.5％、44.2％）

就業上の地位の「役員」の割合は、2.9％、隣接市区の中では、横浜市青葉区（3.9％）、川崎市麻生区（3.1％）に次いで高いが、東京都全体に比べやや低く、経営者層は少ないことがわかる。（全国2.9％、東京都3.6％）

■**就業者の職業**

　　就業者の職業は、エリアマーケティングを展開するに当たって大変重要な指標と言えます。その人がどのような仕事をしているかの具体的な内容です。机に向かっている仕事なのか、現場で働いている仕事なのか、ホワイトカラー系とブルーカラー・農業漁業系に大きく2分類に分けることができます。年収やライフスタイルに大きく関連します。なお、従業先の企業の産業分類は、重要視しません。

　　ホワイトカラーは、「A\_管理的職業従事者」「B\_専門的・技術的職業従事者」「C\_事務従事者」の3分類ですが、特に「A\_管理的職業従事者」「B\_専門的・技術的職業従事者」に注目、年収も高くなっています。店舗周辺の商圏調査をする場合、性年代・世帯人員の基本属性と一緒に必ず確認する必要があります。一方、生産系等のブルーカラー・農林漁業系の割合が高い地域は、年収は、落ちますが、残業が少ないため、ホワイトカラーに比べ時間制約が少ないです。

町田市の場合、「A\_管理的職業従事者」「B\_専門的・技術的職業従事者」「C\_事務従事者」で構成されるホワイトカラーの割合が47.1％、隣接市区の中では、川崎市麻生区（57.0％）、横浜市青葉区（56.8％）、多摩市（50.8％）に次いで4番目に高い。(全国40.1％、東京都52.8％)

生産系等のブルーカラー・農林漁業系の割合は、23.1％、相模原市緑区（34.1％）、同中央区（33.1％）、横浜市瀬谷区（29.7％）、大和市（28.6％）に比べやや低い。(全国33.4％、東京都19.1％)

町田市の就業者は、隣接市区の中では、職業的には中間的な位置づけと言えます。

■**卒業者の高学歴者の割合**

卒業者における大学＆大学院の割合は、31.5％、東京都（31.6％）のほぼ同値である。(全国21.7％)　隣接市区では、横浜市青葉区が43.8％、川崎市麻生区が40.4％となっており、近隣地域では飛び抜けた値。

■**通勤者・通学者の利用交通機関**

電車が51.3％で半数。次いで車が22.4％、乗り合いバスが20.1％。（東京都 ： 電車60.1％、

車10.2％、乗り合いバス10.4％）　乗り合いバスのイメージある町田市であるが、横浜市青葉区（22.0％）、多摩市（20.6％）と同レベル。

電車は、横浜市青葉区（67.8％）、川崎市麻生区（67.9％）で高い。また、車は、相模原市緑区

（41.2％）、中央区（31.0％）で高い。※なお、乗り合いバスや自転車等は、勤務地・通学地近くでの利用も含むので注意

[★関東全市区町村 最新2022年国勢調査一覧表販売中＜案内サイト＞](http://www.tajima-m.com/2022kokusei%20kantou.html)

　～人口等の基本属性以外に職業・大卒・利用交通機関～

　[このデータからわかること＜データの解説＆町田市の結果を解説（ＰＤＦ）＞](http://www.tajima-m.com/machidasikaisetu.pdf)

★KDDI GPS位置情報ビッグデータを利用した商圏設定＆利用者分析サービス

❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆

田島利明 （TAJIMA TOSHIAKI）

(タジマ・マーケティング・オフィス)

市場調査・エリアマーケティング・マーケティング

Mail：tajima\_toshiaki@tajima-m.com

Homepage：[http://tajima-m.com](http://tajima-m.com/)

東京都町田市森野

❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆❆